

2学期に学習する内容の予定です。家庭での学習計画の参考にしましょう。(内容は変更される場合があります)

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
<p style="text-align: center;">国語</p>	<p>○【文法】 ・用言の活用</p> <p>○【漢文】 ・漢詩の世界</p> <p>○【短歌】 ・短歌の世界 ・短歌十首</p> <p>○【古文】 ・平家物語</p> <p>○【物語】 ・小さな手袋</p> <p>○【言語事項】 ・上位語・下位語 ・類義語・対義語・多義語 ・熟語の読み</p>	<p>・動詞や形容詞、形容動詞の性質と活用について理解する。</p> <p>・漢詩の表現やリズムを捉え、漢詩を読み味わう。 ・漢詩に描かれた情景を捉え、心情を想像する。</p> <p>・短歌のリズムや表現技法などの特徴を理解して、短歌についての理解を深める。</p> <p>・古典のリズムを味わい、登場人物の考え方について自分の考えをもつ。</p> <p>・主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。 ・象徴された事柄を読み解く。</p> <p>・言語について正しい理解をし、自分自身の表現に生かす。</p>	<p>① 知識・技能 言語に関する課題・漢字テスト 文法テスト・定期テストなど</p> <p>② 思考・判断・表現 リスニングテスト 作文・記述課題・読解課題 定期テストなど</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 課題や提出物とその完成度 授業への取り組み方など</p>
<p style="text-align: center;">英語</p>	<p>○不定詞 ①名詞的用法 ②副詞的用法 ③形容詞的用法</p> <p>○have to / mustの用法</p> <p>○動名詞のある文</p> <p>○疑問詞+to+動詞の原形</p> <p>○道案内の表現</p>	<p>・不定詞の形・意味・用法を理解し、表現する。 ・自分が体験したことや学んだことについて伝える</p> <p>・have to / must の使い方、用法を理解し、表現する。</p> <p>・動名詞を使った文の形・意味を理解し、表現する。</p> <p>・疑問詞+to+動詞の原形の形・意味を理解し、表現する。</p> <p>・Could you tell me how to get to - ?の意味を理解し、表現する。また、その答え方を理解する。</p>	<p>・不定詞の形・意味・用法を理解し、表現できるかどうか。</p> <p>・have to / mustのある文について理解し、表現できるかどうか</p> <p>・動名詞のある文について理解し、表現できるかどうか。</p> <p>・疑問詞+to+動詞の原形の形・意味を理解し、表現できるかどうか。</p> <p>・乗り物での行き方をたずねたり、答えたりすることができる。</p> <p>・発音、声の大きさ、話す速さ、ジェスチャー等を工夫し、自分の伝えたいことを効果的に伝えられるかどうか。</p>

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
社会	<p>【地理的分野】</p> <p>◇日本の諸地域</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地方 ・関東地方 ・東北地方 ・北海道地方 <p>【歴史的分野】</p> <p>◇近世の日本</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・江戸幕府の成立と対外政策 	<p>〈ねらい〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸地域の特色を、様々な視点から多面的・多角的に考察し、その考察をもとに地域的特色を理解する。 ・各地方の特色を、自然環境、工業、農業などの点に着目して理解する。 ・欧米諸国の近代化の進展について、どのように発展したのかを理解する。 ・欧米とアジアとの関係の変化に着目して、江戸幕府が滅んだ流れを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①主体的に学習に取り組む態度 授業態度、提出物、定期テストなど ②思考・判断・表現 定期テスト、ノートなど ③知識・技能 定期テスト・小テストなど
数学	<p>◇一次関数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次関数 ・一次関数の値の変化 ・一次関数とグラフ ・一次関数と方程式 ・一次関数の利用 <p>◇図形の調べ方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平行と合同 ・証明 <p>◇図形の性質と証明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三角形(二等辺三角形) 	<ul style="list-style-type: none"> ・変化や対応についての見方や考え方を一層深める。 ・あることからの中から一次関数を見だし、それを式やグラフに表して考察する。 ・一次関数の特徴を理解し、一次関数のグラフをかくこと。 ・直線が与えられているとき、その直線の式を求めること。 ・一次関数のグラフと方程式のグラフの関係、および、連立方程式の解とグラフの関係を明らかにすること。 ・ある具体的なことからを一次関数とみなし、それを問題解決に利用すること ・図形の基本性質として、平行線についての性質、多角形の角、三角形の合同条件を調べる。 ・観察、操作や作図などの活動を通して、証明の意義・必要性を理解し、証明のしくみ・進め方を身につける。 ・三角形の合同条件を使って、二等辺三角形の性質を証明する。 ・定理の逆について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 発言・発表、定期テスト、 単元テスト、小テストなど ② 思考・判断・表現 発言・発表、定期テスト、 単元テスト、小テストなど ③ 主体的に学習に取り組む態度 課題への取り組み方、発言の様子、 ノート、ワークなど

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
理科	<p>◇生物の体のつくりとはたらき 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはたらき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ</p> <p>◇電流とその利用 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の体をつくる細胞について理解する。 ・動物が生命を維持するためのしくみを理解する。 ・栄養分や酸素を取り入れるしくみを理解する。 ・動物が刺激を受けるしくみや動物が刺激を受けとってから反応するまでのしくみを理解する。 ・運動のしくみを理解する。 ・脊椎動物の歴史を知り、生物の移り変わりと進化を理解する。 <ul style="list-style-type: none"> ・回路の基本的な性質や、電流と電圧の関係を見いだすとともに電気抵抗があることを見いだす。 ・実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。 ・静電気と電流の関係から、電流の正体について理解する。 ・電流の流れるしくみを理解する。 ・電流を利用して熱や光、磁界などを発生させることができることを見いだす。 	<p>① 知識・技能 ペーパーテスト、実験観察の技術習得、実験結果の記録や整理、授業での発言などで判断</p> <p>② 思考・判断・表現 ペーパーテスト、実験観察による考察、授業での発言などで判断</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 ノートやレポートの完成度、提出具合、授業での態度などで判断</p> <p>備考：ペーパーテストは、小テストも含む</p>
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・布作品の制作 ・食事の役割と中学生の栄養の特徴 	<ul style="list-style-type: none"> ・ミシン縫い、スナップつけができる。 ・食事の役割を考える。 ・健康に良い食習慣を知る。 ・栄養素の種類と働きを理解する。 ・中学生に必要な栄養を理解する。 ・食品に含まれる栄養素を理解する。 ・一日に必要な食品の量を考える。 ・バランスの良い献立を考える。 	<p>① 知識・技能 定期テスト クロムブックでの提出など</p> <p>② 思考・判断・表現 定期テスト クロムブックでの提出など</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度 クロムブックでの提出 授業での態度など</p>
技術	<p>【エネルギー変換の技術】</p> <p>○エネルギー変換 ならびに製作実習</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エネルギー変換の技術について理解する。 ・電気を安定的に供給するための仕組みを知る。 ・電気エネルギーの変換と利用方法を知る。 ・電気機器の安全な使い方について理解する。 ・電気事故を防ぐ方法について考えることができる。 ・エネルギー変換を利用した製作品をつくることができる。 	<p>①知識・技能 ・電気を安全に利用する技能 ・工具の正しい利用や作品の成果 ・定期考査 等</p> <p>②思考・判断・表現 ・作業の工夫 ・プリントの工夫 ・定期考査 等</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 ・授業の様子 ・プリントの取組の様子 ・定期考査 等</p>

教科	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力	評価の観点・評価方法
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 歌唱分野 <ul style="list-style-type: none"> ・「サンタルチア」他 ・クラス合唱曲 ○器楽分野 <ul style="list-style-type: none"> ・アルトリコーダー 「Amazing Grace」 ○鑑賞領域 <ul style="list-style-type: none"> ・交響曲第五番「運命」(ベートーヴェン作曲) ○その他 <ul style="list-style-type: none"> ・曲の構成 ・オーケストラについて 	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア語の発音の美しさを生かして独唱し、歌詞の内容や曲想を味わいながら、曲に応じた歌い方を身につける。 ・合唱への取組を通して、自分の思いを音楽で伝える力を育むと共に、仲間と互いに歌いあえる喜びを味わう。 ・アルトリコーダーの基礎的な奏法をしっかりと身に付けながら、様々な演奏表現を楽しむ。 ・音楽の構成とオーケストラについて理解して鑑賞する。 ・ベートーヴェンについて知り、その音楽の特徴と背景を重ね合わせて作品を味わう。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・実技試験（歌唱・器楽） ・楽譜の書き方 ・定期考査 等 ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・実技における演奏表現の工夫 ・鑑賞批評文やワークの記述 ・定期考査 等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・授業の様子 ・ふりかえりシートや感想文 ・プリントやワークの取組 ・定期考査 等
美術	<ul style="list-style-type: none"> ○夏休み自由作画 ○ピンパターン（線織面） ○鑑賞 ○透視図法 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面絵画で発想力豊かに、技能を含め自由に表現する。 ・デザインを立体的に構成し、完成を予想して制作を進めることができる。 ・配色や模様を工夫し、魅力的な作品に仕上げる。 ・色と直線の限られた要素で独創的で発想力豊かな作品を作る。 ・用具の扱いや糸の巻き方などプリント学習を含めた有効的な議法を覚えて作品に活かす。 ・丁寧な作業を心がけ、完成度を高める。 ・作品の良さを感じ取る。 ・作者の生き方や他の作品に触れる。 ・美術を歴史的観点から理解する。 ・（遠近法の学習予定） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> 美術に関する基礎的な知識 授業中の内容 作者と作品への理解と知識 〈テスト〉 ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> 作品の構成と達成度 作品の良さを感じ取る力 〈作品の発想力や独創性〉 ③ 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> 授業・作品への取り組む態度 提出物の内容 〈作品の完成度と授業中の姿勢・提出物〉
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 【体育】男女共通 ○体づくり運動 【体育】男子 ○ソフトボール ○跳び箱 ○長距離走 【体育】女子 ○ソフトボール ○跳び箱 ○長距離走 【保健】男女共通 ○傷害の防止 ○健康な生活と疾病の予防 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育大会に向けて体力向上と各種目の練習 ・ラジオ体操を正しく習得する。 ・ソフトボールでは基本的なキャッチボールなどの技術の向上。 ・跳び箱では、安全に気をつけ、跳び箱運動の技や高さに挑戦していく。 ・長距離走では、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・ソフトボールでは基本的なキャッチボールなどの技術の向上。 ・跳び箱では、安全に気をつけ、跳び箱運動の技や高さに挑戦していく。 ・長距離走では、記録の向上や競争の楽しさを味わう。 ・応急手当の意義と方法 ・心肺蘇生法 ・生活習慣病の起こり方 ・生活習慣病の予防 ・がんの予防 	<ul style="list-style-type: none"> ① 知識・技能 <ul style="list-style-type: none"> ・実技テスト(各種の記録、評価) ・定期テスト 等 ② 思考・判断・表現 <ul style="list-style-type: none"> ・定期テストでの思考・判断・表現の項目で自分の考えを具体的に記す ・各授業での配布プリント・学習カードの内容から判断する ・種目や授業内容に応じた思考、判断が適切にできる 等 ③ 主体的に学習に取り組む態度 <ul style="list-style-type: none"> ・欠席・見学・遅刻がなく、意欲的に取り組む ・準備運動(補強等)をきちんと取り組む ・準備、授業、片づけに取り組む態度 等